

MARUYAMA
INTERIM
REPORT 2020

証券コード 6316

第85期
2019.10.1 ▶ 2020.3.31

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援およびご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、2020年9月期第2四半期の決算を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の内容についてご報告申し上げます。

2020年6月

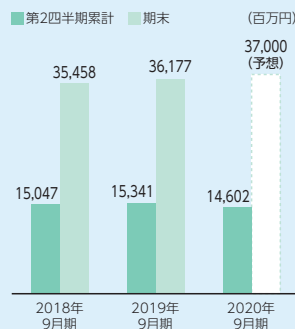
代表取締役社長
尾頭 正伸



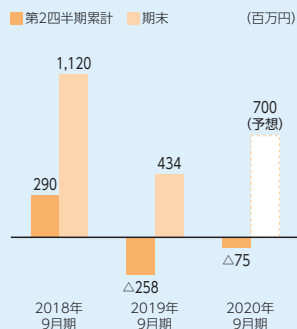
▶ 決算ハイライト



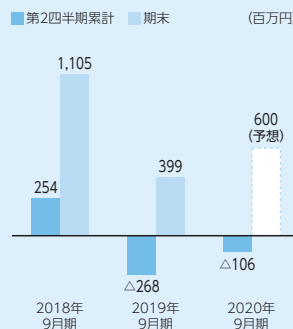
売上高



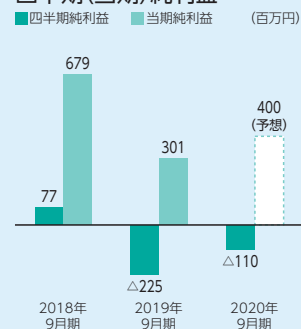
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



▶ 2020年第2四半期連結累計期間における事業の概況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、期の半ばまでは、輸出や生産が弱含んでいたものの、個人消費、雇用情勢は引続き改善傾向で推移しておりました。しかしながら、年明けより大きな問題に発展した新型コロナウイルス感染症の影響により、足下の景気は大幅に下押しされており、大変厳しい状況が続いております。海外経済におきましても、感染症の世界的大流行の影響により、経済活動が抑制され、景気は急速に減速しており、先行きにつきましても、さらに下振れするリスクがある状況となっております。

一方、農林業用機械業界におきましては、農地の集約や畑作、野菜作への作付け転換などの構造変化が進む中、消費増税の反動もあり、農林業用機械の国内向けの出荷・生産実績が減少するなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、国内外において、主力製品である防除機を新型コロナウイルス感染症対策の消毒機として活用するため、販売促進などの取り組みを行ってまいりました。また、国内におきましては、当期より子会社の工業用機械部門を当社へ事業移管し、全国に広がる販売網、サービス網を活用することにより、積極的に販売の拡大に努めてまいりました。海外におきましても、新製品を投入することにより、更なる拡販活動を展開してまいりました。

しかしながら、国内におきましては、ホームセンター流通は刈払機を中心に増加しましたが、アグリ流通では、感染症防止に伴う展示会の中止の影響もあり高性能防除機などが減少した結果、国内売上高は11,077百万円(前年同四半期比3.4%減)となりました。また、海外におきましても、工業用ポンプは増加しましたが、高性能防除機や刈払機の減少などにより、海外売上高は3,525百万円(前年同四半期比9.1%減)となり、当第2四半期連結累計期間の売上高合計は14,602百万円(前年同四半期比4.8%減)となりました。

利益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少はありましたが、製造経費や販売管理費の削減に努めた結果、営業損失は75百万円(前年同四半期は258百万円の損失)となりました。経常損失は、円高の影響による為替差損の計上などもあり106百万円(前年同四半期は268百万円の損失)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は110百万円(前年同四半期は225百万円の損失)となりました。

▶ 2020年9月期の見通しについて

通期につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響もあり、経済の急減速が予想されております。当社も新型コロナウイルス感染症の収束時期によっては、今後の販売、生産に影響を与える可能性があります。

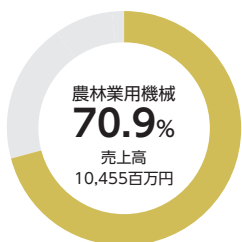
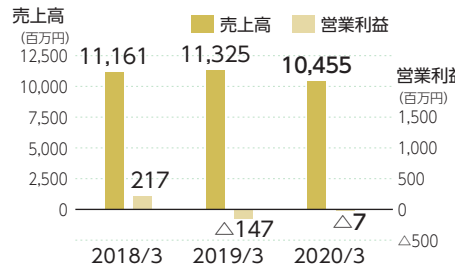
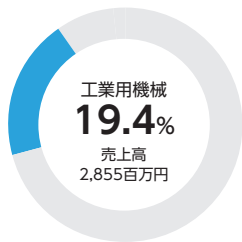
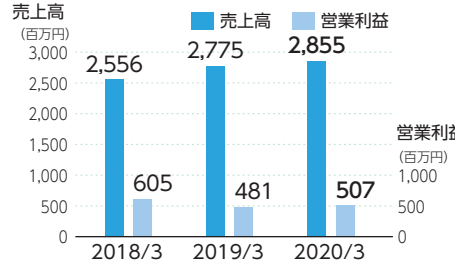
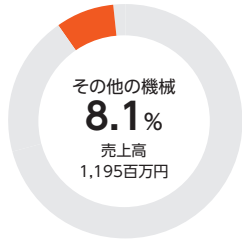
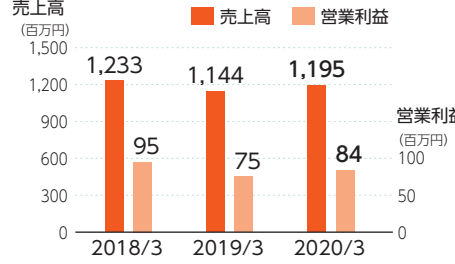
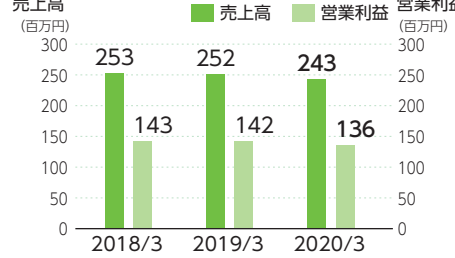
このような状況の中、当社グループは主力の防除機で農業分野以外での販路を広げ、新型コロナウイルスの除菌、消毒に積極的な営業活動を進めてまいります。海外におきましても、新規販路の開拓をすすめるとともに、より一層の既存販路の強化と売上拡大によるブランド認知度の向上に取り組んでまいります。

通期の業績予想につきましては、連結売上高37,000百万円(前期比2.3%増)、連結営業利益700百万円(前期比61.1%増)、連結経常利益600百万円(前期比50.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益400百万円(前期比32.7%増)を見込んでおります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり配当金 (円)
通 期 業 績 予 想 (2020年9月期)	37,000	700	600	400	35

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結セグメント別の概況

	売上高構成比	売上高・営業利益の推移	取扱商品												
農林業用 機械	 農林業用機械 70.9% 売上高 10,455百万円	 売上高 (百万円) <table><tr><th>年度</th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr><tr><td>2018/3</td><td>11,161</td><td>217</td></tr><tr><td>2019/3</td><td>11,325</td><td>△147</td></tr><tr><td>2020/3</td><td>10,455</td><td>△7</td></tr></table> 営業利益 (百万円)	年度	売上高	営業利益	2018/3	11,161	217	2019/3	11,325	△147	2020/3	10,455	△7	●動力噴霧機 ●動力散布機 ●高性能防除機 ●刈払機 ●チェーンソー ●その他 
年度	売上高	営業利益													
2018/3	11,161	217													
2019/3	11,325	△147													
2020/3	10,455	△7													
工業用 機械	 工業用機械 19.4% 売上高 2,855百万円	 売上高 (百万円) <table><tr><th>年度</th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr><tr><td>2018/3</td><td>2,556</td><td>605</td></tr><tr><td>2019/3</td><td>2,775</td><td>481</td></tr><tr><td>2020/3</td><td>2,855</td><td>507</td></tr></table> 営業利益 (百万円)	年度	売上高	営業利益	2018/3	2,556	605	2019/3	2,775	481	2020/3	2,855	507	●工業用高圧ポンプ ●高圧洗浄機 
年度	売上高	営業利益													
2018/3	2,556	605													
2019/3	2,775	481													
2020/3	2,855	507													
その他の 機械	 その他の機械 8.1% 売上高 1,195百万円	 売上高 (百万円) <table><tr><th>年度</th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr><tr><td>2018/3</td><td>1,233</td><td>95</td></tr><tr><td>2019/3</td><td>1,144</td><td>75</td></tr><tr><td>2020/3</td><td>1,195</td><td>84</td></tr></table> 営業利益 (百万円)	年度	売上高	営業利益	2018/3	1,233	95	2019/3	1,144	75	2020/3	1,195	84	●消火器 ●防災関連機器 ●その他 
年度	売上高	営業利益													
2018/3	1,233	95													
2019/3	1,144	75													
2020/3	1,195	84													
不動産 賃貸他	 不動産賃貸他 1.6% 売上高 243百万円	 売上高 (百万円) <table><tr><th>年度</th><th>売上高</th><th>営業利益</th></tr><tr><td>2018/3</td><td>253</td><td>143</td></tr><tr><td>2019/3</td><td>252</td><td>142</td></tr><tr><td>2020/3</td><td>243</td><td>136</td></tr></table> 営業利益 (百万円)	年度	売上高	営業利益	2018/3	253	143	2019/3	252	142	2020/3	243	136	●不動産賃貸 ●売電事業
年度	売上高	営業利益													
2018/3	253	143													
2019/3	252	142													
2020/3	243	136													

※セグメント別売上高は、セグメント間取引調整前の金額にて表示しております。

業績の概要

売上高(前年同四半期比)
 **7.7%減**

 前年同四半期は
 147百万円の損失

国内におきましては、刈払機や補用部品の増加はありましたが、高性能防除機が減少いたしました。また、海外におきましては、高性能防除機や刈払機が減少したことなどにより、国内外の農林業用機械の売上高合計は10,455百万円(前年同四半期比7.7%減)、営業損失は7百万円(前年同四半期は147百万円の損失)となりました。

売上高(前年同四半期比)
 **2.9%増**

 営業利益(前年同四半期比)
5.3%増

国内におきましては、工業用ポンプが減少いたしました。海外におきましては、主に欧州向けの工業用ポンプが増加した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は2,855百万円(前年同四半期比2.9%増)、営業利益は507百万円(前年同四半期比5.3%増)となりました。

売上高(前年同四半期比)
 **4.5%増**

 営業利益(前年同四半期比)
12.5%増

消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は1,195百万円(前年同四半期比4.5%増)、営業利益は84百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。

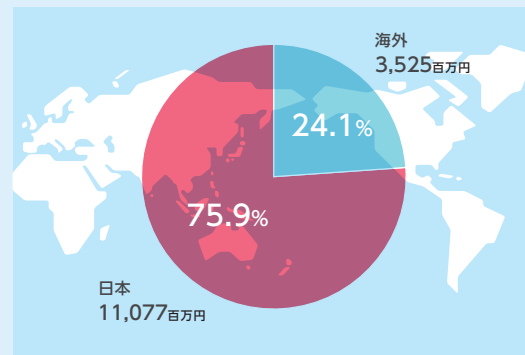
売上高(前年同四半期比)
 **3.9%減**

 営業利益(前年同四半期比)
4.1%減

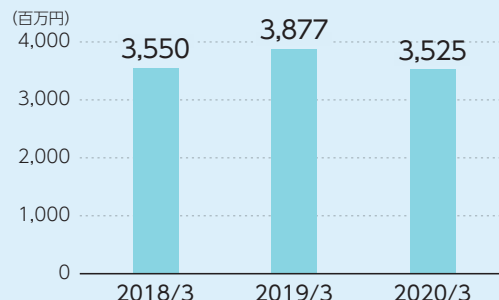
不動産賃貸他の売上高は243百万円(前年同四半期比3.9%減)、営業利益は136百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。

海外の売上高の状況

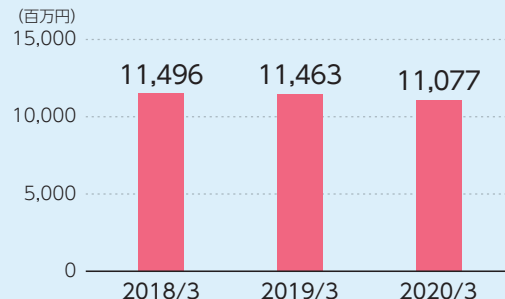
売上高の海外構成比



海外



日本



連結財務諸表

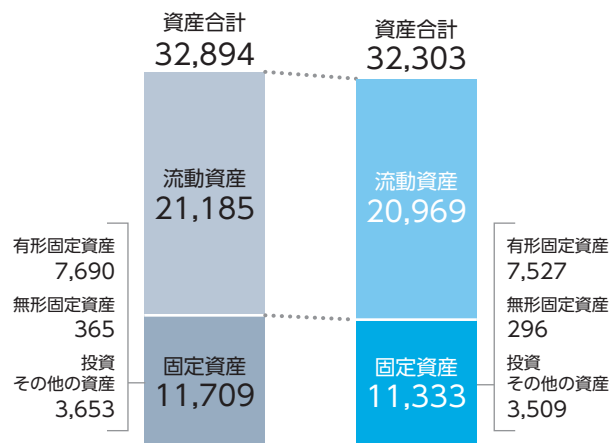
▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

前期(2019年9月30日現在)

当四半期(2020年3月31日現在)

● 資産の部

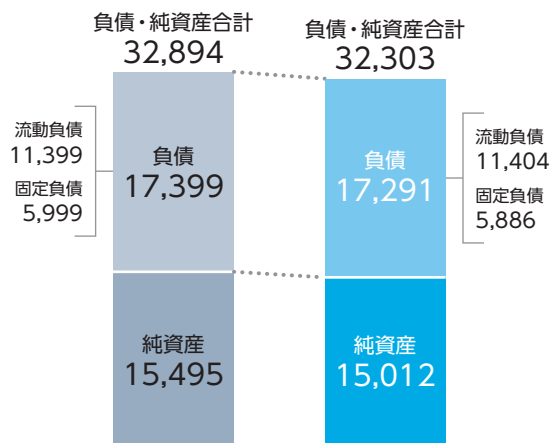


※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

前期(2019年9月30日現在)

当四半期(2020年3月31日現在)

● 負債・純資産の部



» POINT

資産合計

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は32,303百万円となり、前連結会計年度末より591百万円減少いたしました。これは、商品及び製品の増加(1,645百万円)はありましたが、受取手形及び売掛金の減少(948百万円)、電子記録債権の減少(979百万円)、投資有価証券の減少(291百万円)などによるものであります。

負債合計

負債総額は17,291百万円となり、前連結会計年度末より108百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金の増加(854百万円)はありましたが、電子記録債務の減少(215百万円)、短期借入金の減少(342百万円)、長期借入金の減少(183百万円)などによるものであります。

純資産合計

純資産総額は15,012百万円となり、前連結会計年度末より482百万円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことなどによる利益剰余金の減少(276百万円)、その他有価証券評価差額金の減少(202百万円)などによるものであります。

▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前四半期 (2018年10月1日～ 2019年3月31日)	当四半期 (2019年10月1日～ 2020年3月31日)	前 期 (2018年10月1日～ 2019年9月30日)
売上高	15,341	14,602	36,177
売上原価	11,734	10,980	27,749
売上総利益	3,607	3,621	8,428
販売費及び一般管理費	3,865	3,696	7,993
営業利益又は営業損失(△)	△258	△75	434
営業外収益	68	49	132
営業外費用	78	80	167
経常利益又は経常損失(△)	△268	△106	399
特別利益	31	0	73
特別損失	30	6	31
税金等調整前当期純利益 又は四半期純損失(△)	△266	△112	440
当期純利益 又は四半期純損失(△)	△225	△110	301
親株主に帰属する当期純利益 又は四半期純損失(△)	△225	△110	301

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

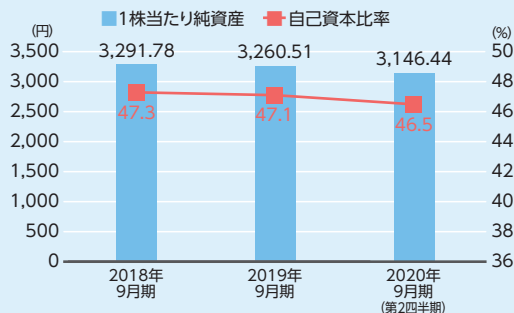
科 目	前四半期 (2018年10月1日～ 2019年3月31日)	当四半期 (2019年10月1日～ 2020年3月31日)	前 期 (2018年10月1日～ 2019年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,066	762	321
投資活動による キャッシュ・フロー	△435	△322	△719
財務活動による キャッシュ・フロー	984	△724	215
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1	0	△6
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△519	△282	△189
現金及び現金同等物の 期首残高	2,296	2,107	2,296
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,777	1,824	2,107

» POINT

現金及び現金同等物の四半期末残高

前年同四半期と比べ、財務活動は短期借入金が増加したことなどにより使用した資金が増加いたしました。一方、営業活動は売上債権の減少額の増加、たな卸資産の増加額の減少などにより得られた資金が増加し、投資活動におきましても有形固定資産の取得による支出の減少、投資有価証券の取得による支出の減少などにより使用した資金が減少した結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減額は、236百万円改善いたしました。

●1株当たり純資産・自己資本比率



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」に伴い、2018年9月期の自己資本比率を変更しております。

丸山製作所 創業125周年



2020年、当社は創業125周年を迎えました。これもひとえに株主様をはじめ関係者の皆様のお陰であると感謝しております。

これを記念して、当社は2020年1月から9月末日まで、創業125周年感謝還元キャンペーンを実施しております。対象商品はハイクリブーム・ラジコン動噴・背負動噴・刈払機・チェーンソーで、性能はそのままに、お求めやすい価格の125周年記念モデルを取り揃えております。

今後なお一層、お客様に喜んでいただけるような製品の販売やキャンペーンの展開を行ってまいります。

ハイクリブーム

1. 「ぴたっとアーム」でブームの揺れを最小限に。
2. スプレーナビで走行速度に応じ自動的に圧力調整。
3. 全油圧機構「Jブーム」で素早いブーム操作が可能。



【BSA-500JDE-125】

ラジコン動噴

1. ホースを引っ張ると自動で送り出す「サポートシステム」。
2. 安心な基幹部と使いやすいレイアウト。
3. コンパクトで軽量の送信機を採用。



【MSA415R4C-125】

チェーンソー



【MCV351-125】

刈払機



【MB26GEX-125】

「除菌・消毒も丸山」環境衛生製品のご紹介

この度の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

当社が開発・販売している噴霧機は、農作業場での防除はもちろん、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の除菌・消毒の目的で使用することも可能です。海外では、ハイクリブームなどの大型機械も消毒機械として活躍しており、インドで当社のハイクリブームを用いた道路の消毒作業の様子がYouTubeで公開されております。

一日も早い感染拡大の収束と経済活動の回復に向け、当社グループの総力をあげて貢献してまいります。

【MSE-51H】



【MSB100Li-L】



インドでの消毒に使用されているハイクリブーム
【BSA-600LEQ】

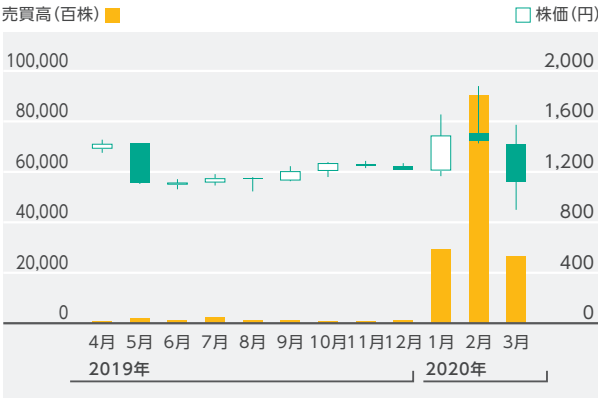
株式の状況

発行可能株式総数 13,906,100株
発行済株式の総数 5,029,332株 (自己株式258,068株を含む)
株主数 4,848名
大株主(上位10名)

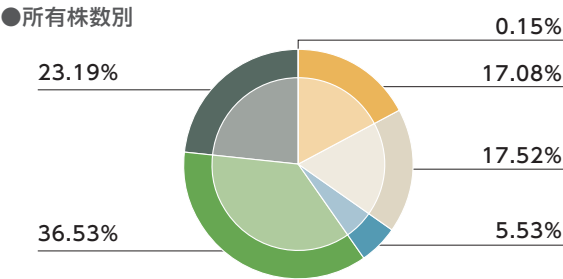
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	210	4.40
農林中央金庫	205	4.30
丸山製作所取引先持株会	190	3.99
株式会社千葉興業銀行	162	3.41
丸山製作所従業員持株会	133	2.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	103	2.17
株式会社クボタ	95	2.00
みずほ信託銀行株式会社	90	1.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	85	1.79
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	81	1.70

(注) 1. 当社は、自己名義株式(160,968株)を保有しておりますが、上記の表には含めておりません。
2. 持株比率は自己株式(258,068株)を控除して算出しております。なお、2020年3月31日現在において資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式97,100株を自己株式数に含めているため、上記の表には含めておりません。

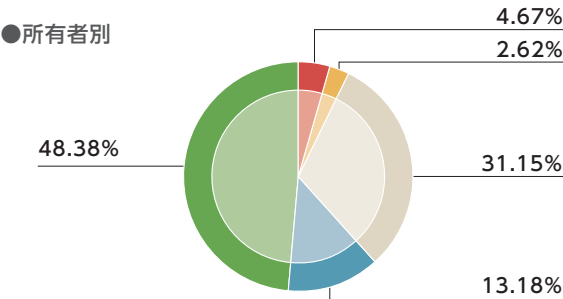
株価および株式売買高の推移



株式の分布状況



1百株未満	385名	7,532株
1百株以上10百株未満	3,865名	859,257株
10百株以上50百株未満	504名	881,333株
50百株以上100百株未満	42名	278,012株
100百株以上1,000百株未満	45名	1,837,077株
1,000百株以上	7名	1,166,121株



外国法人等	235千株
証券会社	132千株
金融機関	1,566千株
その他国内法人	663千株
個人その他	2,433千株

▶ 会社の概要 (2020年3月31日現在)

商号	株式会社丸山製作所
英文名称	MARUYAMA MFG. CO., INC.
設立	1937年11月1日
資本金	46億5,106万円
本社	東京都千代田区内神田三丁目4番15号
主な事業内容	農林業用機械（噴霧機、刈払機ほか）、工業用機械（高圧ポンプほか）、消防機械（消火器ほか）、環境衛生用機械ほかの製造並びに販売 不動産賃貸事業、売電事業
国内関係会社	日本クライス株式会社、マルヤマエクセル株式会社、西部丸山株式会社、丸山物流株式会社
海外関係会社	マルヤマU.S., INC.、マルヤマ（タイ）CO., LTD.、丸山（上海）貿易有限公司、アジアンマルヤマ（タイ）CO., LTD.
従業員数	591名
グループ従業員数	930名
工場	千葉工場、東金第二工場
事業所	鏡野事業所、福島事業所
営業拠点	北海道、帯広、青森、秋田、岩手、南東北、宮城、福島、新潟、長野、山梨、茨城、北関東、千葉、南関東、静岡、名古屋、北陸、大阪、広島、岡山、四国、福岡、熊本、南九州、宮崎

▶ 役員の状況 (2020年3月31日現在)

代表取締役会長	内山治男	
代表取締役社長	尾頭正伸	
専務取締役	遠藤茂巳	営業本部長兼国内営業本部長
常務取締役	内山剛治	管理本部長
取締役	石村孝裕	海外営業本部長
取締役	大平康介	生産本部長兼千葉工場長
取締役	畑野敬幸	社外取締役 常勤監査等委員
取締役	土岐敦司	社外取締役 監査等委員
取締役	宮西信	社外取締役 監査等委員
取締役	鎌倉利博	監査等委員

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
利益配当金受領株主確定日	9月30日
基準日	9月30日 その他必要ある場合は予め公告して設定いたします。
定時株主総会	12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先、郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
未払配当金の受領	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（当社ホームページ http://www.maruyama.co.jp/ ） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人のみずほ信託銀行ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 未払配当金の受領や支払明細発行、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され、その特別口座に記録されました株式に関する各種お手続きなどにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等（いわゆる「外字」）が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

単元未満（1株から99株）株式をお持ちの株主様へ

買取をご請求いただくことで、単元未満株式を売却することができます。
詳細につきましては下記までお問い合わせください。

■ お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式
口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式
上記のみずほ信託銀行株式会社へ

■ 買取制度の例（160株ご所有の場合）



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。